平成23年11月15日

市政記者各位

経済振興局集客交流部
総務企画局企画調整部

「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議2012」の福岡市開催が決定！

１．「第４回国際ユニヴァーサルデザイン会議2012」の概要

■目的

産官学の垣根を越え、国内外のユニバーサルデザインの専門家が一堂に会し、情報の共有化と人的交流を行うことで、より質の高いユニバーサルデザイン社会の実現を目指し、誰もが安全で快適に暮らせるためのアイディアや研究発表、事例紹介等を行う。

■主催　国際ユニヴァーサルデザイン協議会（IAUD）
（総裁）寛仁　親王　殿下
（会長）山本　卓眞　氏（富士通株式会社　名誉会長）

■日程　平成24年10月12日（金）～14日（日）
10月12日　開会式、公開シンポジウム、レセプション
10月12～14日　本会議（全体会議・分科会）、展示会　他

■会場　福岡国際会議場・福岡国際センター

■規模　30ヶ国、延べ12,000名（展示会参加者を含む）

＜過去の開催実績＞
第1回　国際ユニバーサルデザイン会議2002　後援：神奈川県・横浜市
日程：平成14年11月30日～12月4日　会場：パシフィコ横浜
第2回国際ユニヴァーサルデザイン会議2006in京都　共催：京都府・京都市
日程：平成18年10月22日～10月26日　会場：国立京都国際会館　他　参加人数：延べ約14,700人
第3回国際ユニヴァーサルデザイン会議2010inはままつ　共催：静岡県・浜松市
日程：平成22年10月30日～11月3日　会場：アクトシティ浜松　他　参加人数：延べ約14,000人

（参考）「第３回国際ユニヴァーサルデザイン会議2010inはままつ」の様子

２．福岡市開催について

■意義と目的

〇みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサルシティ福岡」の実現

〇少子高齢社会の進展、外国人の増加等、社会変化に対応したアジアのリーダー都市としての発展の契機

〇コンベンション誘致による地域経済の活性化

〇国内外からの参加者に対する福岡市の魅力発信

■福岡市の取り組み

〇国際会議をメインイベントとして、これまで福岡市や関係団体とともに取り組んできた、ハートフルフェスタなどの様々な事業と組み合わせて、年齢、性別や国籍、障がいの有無を問わず、誰もが楽しみながら「ユニバーサルシティ福岡」を体現できる「ユニバーサルシティ福岡フェスティバル（仮称）」を同時期に開催する。

ユニバーサルデザインとは、年齢、性別や国籍、障がいの有無等を問わず、すべての人が自由に快適に利用でき、行動できるような思いやりあふれる配慮を、まちづくりやものづくりなどのあらゆる場面で、ハード・ソフトの両面から行っていこうとする考え方のことです。

なお、会議名及び会議主催者名は、固有名詞のため、それぞれユニヴァーサルデザインと表記しています。

【問い合わせ先】
国際会議全般に関すること：経済振興局集客交流部　中田、伊賀上
TEL：092-711-4349（内線 2568）　FAX：092-762-4442
福岡市開催に関すること：総務企画局企画調整部　山口、西
TEL：092-711-4868（内線 1297）　FAX：092-733-5582

第 4 回 国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012

The 4th International Conference for Universal Design

基本計画案

2011 年 11 月 11 日

国際ユニヴァーサルデザイン協議会
International Association for Universal Design

第 4 回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012
開催趣意書

2011.9.13

国際ユニヴァーサルデザイン協議会（IAUD：総裁 寛仁親王殿下）は、2012 年 10 月、福岡市において「第 4 回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012」を開催いたします。

2011 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災（大地震及び巨大津波）により、東北三陸海岸地域の市町村は壊滅的な被害に見舞われました。死者・行方不明者の合計は約 2 万人に達し、死者の 92.5%にあたる約 1 万 3000 人が津波による水死で、死者の 65.2%は 60 歳以上でした。一方、いつ発生しても不思議ではないとされている東海・東南海・南海大地震が連動して起こった場合の被害は今回を遥かに上回ると想定されています。

太古の昔から、1000 年に一度、あるいは、30ー60 年ごとに繰り返される大地震や大津波、そして毎年のように発生する台風や集中豪雨で生じる洪水や土砂崩れ等の自然災害を何とか克服しながら、私達は連綿と社会生活を営んできました。しかし、その陰で、高齢者や障害者、そして子ども等、弱い立場に置かれた多くの人々が常に犠牲になってきたのも事実です。

IAUD は、その設立趣旨の中で「一人一人の人間性を尊重した社会環境づくりをユニヴァーサルデザインと呼び、使い手と作り手の関係を再構築することで、社会のすべての面に適用されるべき人間中心のしくみ作りを急ぐ」と提言しましたが、人間性の尊重や人権以前に、基本的な生命の安全が脅かされているという現状を再認識したのです。

今回の震災で私達は多くの教訓を学びました。家族や知人の安否を確かめるため、非常時にこそ機能してほしい情報コミュニケーション、高齢者や障害者の生命を守るアクセシビリティ及びモビリティ、子々孫々の将来に渡り安全安心なエネルギー政策、生命と財産を守るシェルターとしての住まいや職場、「防災」や「減災」を踏まえたコミュニティのあり方等々、インフラや産業構造、そしてライフスタイルや社会システム及び制度のあり方を含めた、「安全・安心」という、いわばユニヴァーサルデザインの底流にある基本的概念をもう一度捉え直し、社会生活全般に渡る総点検を行なわなくてはなりません。これは、東日本だけでなく、日本国民のすべてにとって必要な最優先検討事項であり、導き出される解決策は、世界中の多くの人々の生命の安全と福祉向上にも貢献することなのです。

第 4 回目となる今回の会議では、「安全・安心ーユニヴァーサルデザインの基本を考えるー（案）」とのテーマを掲げ、国内外の参加者の活発な意見交換と相互交流を通して、持続的、かつ自発的な行動を促しながら、さらに質の高いユニヴァーサルデザイン社会の実現に向かって挑戦いたします。

ぜひ、これらの趣旨をご理解賜り、さまざまな立場の方々の幅広いご支援とご協力、そして積極的なご参加を衷心よりお願い申し上げます。

■開催概要（案）

2011.11.11

名称：第 4 回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012
(The 4th International Conference for Universal Design 2012)

開催日程（予定）：
公開シンポジウム／開会式　2012 年 10 月 12 日（金）
本会議（分科会・全体会議・展示会ほか）　2012 年 10 月 12 日（金）ー14 日（日）
＊想定参加者数（初日 4000 名、延べ 12,000 名）
＊想定参加国数（約 30 カ国）

開催場所：福岡国際会議場、福岡国際センター、ほか

主催：国際ユニヴァーサルデザイン協議会

共催（予定）：福岡市

協力（予定）：INSTITUTE FOR HUMAN CENTERED DESIGN、HELEN HAMLYN CENTRE（RCA）、（財）日本デザイン振興会、九州大学、ほか

協賛（予定）：
富士通株式会社、トヨタ自動車株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社リコー、株式会社岡村製作所、ＮＥＣ、コクヨファニチャー株式会社、全日本空輸株式会社、大日本印刷株式会社、株式会社丹青社、ＴＯＴＯ株式会社、トヨタ紡織株式会社、日産自動車株式会社、パナソニック株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社日立製作所、三菱電機株式会社、花王株式会社、株式会社東芝、凸版印刷株式会社、株式会社日本航空、日野自動車株式会社、富士ゼロックス株式会社、ヤマハ株式会社、株式会社ＬＩＸＩＬほか

後援（予定）：
内閣府、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省、国家公安委員会（警察庁）、消防庁、観光庁、英国大使館、米国大使館、ほか
（社）土木学会、（社）日本建築学会、基礎デザイン学会、日本感性工学会、日本デザイン学会、日本人間工学会、日本福祉のまちづくり学会、日本ロボット学会、ヒューマンインタフェース学会、（財）共用品推進機構、交通エコロジー・モビリティ財団、（社）日本インダストリアルデザイナー協会、（社）日本インテリアルデザイナー協会、（社）日本グラフィックデザイナー協会、（社）日本クラフトデザイン協会、（社）日本サインデザイン協会、（社）日本ジュウリーデザイナー協会、（社）日本ディスプレイデザイン協会、（社）日本パッケージデザイン協会、（NPO）ユニバーサルファッション協会、デザイン＆ビジネスフォーラム、ユニバーサルデザインコンソーシアム、柏朋会、ほか